

まちの総合情報誌ふじさわ

Mar.2008

# Fujisawa

# 3

No.650

特集

## 遂志

特集

文化を  
つくる  
DNA

## 最後の よさこい

3月1日行われた藤沢高開校記念式典で  
最後の「よさこいソング」を踊る卒業生



藤沢高校閉校記念特集「遂志」  
CONTENTS

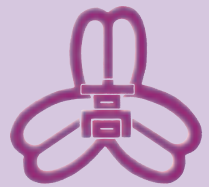
- ② 校章・校旗・校歌
- ④ 最後の卒業式
- ⑥ 28通りの未来に向かって
- ⑧ 歴史を閉じる
- ⑩ 成長の日々、そして発展の記憶
- ⑫ 思い出を語る
- ⑭ SPECIAL INTERVIEW  
⑭ 菊地歩生徒会長 ⑭ 大鹿糠文行校長  
⑭ 小野寺君雄藤高を讃える会長
- ⑯ 遂志—これからも、この場所で

# 特集

[Special Edition]

# 遂志

県立藤沢高校が57年の歴史を閉じる



藤沢という地名にちなんで、フジの花を単純化したもの。フジは謙譲の徳を、その色は高貴を表している。上から校章、校旗、フジ(フジは町花でもある)



藤高野球部の最後の大会となった第88回全国高校野球選手権岩手大会で、スタンドからエールを送る全校応援(平成18年7月13日、一関運動公園野球場)



## 岩手県立藤沢高等学校校歌

作詞 白鳥 省吾

作曲 武田忠一郎

東磐井の名邑と  
文化にかおる藤沢の  
愛宕の丘に輝ける  
学びの園の高校よ  
ああ爽やかに空はるか  
新しき日の鐘はなる 鐘はなる

北上川は洋々と  
平和の里の影映し  
遥かに望む須川岳  
山のあなたの世も広く  
ああ朗らかに睦みつつ  
希望も若く学ぶ窓 学ぶ窓

ふるさとのため国のため  
みなよき民と伸び競う  
建設の意気たくましく  
進む行く手に栄えあれ  
ああ燦然と光りある  
藤沢高校わが母校 わが母校

永遠に  
半世紀の歴史と伝統

# 最後の卒業式

県立藤沢高等学校最後の卒業式は

平成二〇年三月一日、縄文ホールで行われた。

二十八人の卒業生は、大きな夢と希望を胸に

三年間通った学びやから巣立った。

縄文ホールで3月1日行われた藤沢高校最後の卒業式。大鹿糠文行校長から卒業証書を受け取る千葉明日加さん(藤沢町西口)

Graduation Ceremony





緊張の面持ちで国歌を斉唱する卒業生

# 卒業の喜びと閉校の寂しさ 二つの思いが交錯する中で

朝から青空が広がり、旅立ちを祝うにふさわしい穏やかな一日となった。三年間の思い出が走馬燈のように頭の中を駆けめぐる。生徒も教職員も緊張の面持ち。卒業の喜びと閉校の寂しさ、二つの思いが交錯する中で、藤沢高校最後の卒業式が始まった。

午前十時から行われた式には、卒業生、教職員、保護者と来賓など約百二十人が出席。大鹿糠文行校長が卒業生一人一人の名前を読み上げ、卒業証書を手渡した。

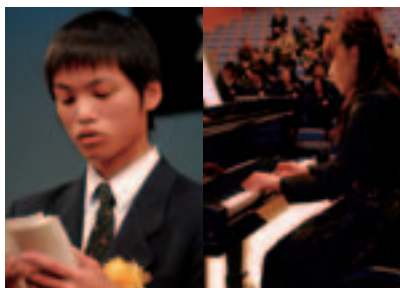
したが、心を一つに本校発展の推進役としてさまざまな分野で活躍してくれました。これからの人生、多くの困難に出遭うと思いますが、決して苦しみから逃げずに、自分を磨き続けてください」と述べた。

続いて来賓の畠山博町長、金野隆PTA会長、小野寺雄同窓会長の三人が祝辞を寄せた。このうち畠山町長は「皆さんは藤沢高校最後のリーダーとして懸命に走り、素晴らしいゴールにたどり着きました。これからの人生、夢や希望もありますが、壁にぶつかることもあるかもしれま

せん。精進を重ね、それぞれの夢や希望を実現できるように頑張ってください」とエールを送った。

生徒を代表して及川広紀君が、少人数、小規模は、決してハンデイではありません。母校の名前は消えても、藤沢高での活動や思い出はわたしたちの心、わたしたちを支えてくれたすべての皆さんの記憶にずっと残ると信じています。ここで出会えたすべての人たちに心から感謝します」と語った。

(中)同校15年度卒業生で東邦音大ピアノ科4年千葉侑衣さんが伴奏を担当してくれた  
(左)卒業生を代表し感謝の言葉を述べる及川広紀君



(上)最後の卒業式で式辞述べる大鹿糠文行校長  
(右上)わが子の卒業を客席から見守る父母ら  
(右下)元・前教職員の皆さんも大勢駆けつけた

## 国交大臣表彰の披露と町長感謝状の贈呈も

式では同校特色の一つボランティア活動に対する国土交通大臣表彰の伝達披露と町長感謝状の贈呈も行われた。

同校は今年の卒業生が生まれた平成2年から学校周辺や通学路の道路清掃「クリーン作戦」を実施してきた。18年間の地道な取り組みが認められて昨年8月、国土交通大臣表彰を受賞した。伝達披露では、大鹿糠校長から生徒代表に表彰状が手渡され、式の出席者に披露された。

18年度からは地域の協力も得ながらアルミ缶回収事業を展開。その益金と生徒会費の余剰金で特別養護老人ホーム「光栄荘」と介護老人保健施設「老健ふじさわ」に車いす4台(各施設2台ずつ)を寄贈。畠山博町長から生徒代表に感謝状が贈呈された。



# Class B



**UEDA  
YUUKI**

上田勇樹 一関市千厩町  
みんなガンバ。自分も頑張ります。



**SATO  
YOSHIHIRO**

佐藤嘉浩 藤沢町藤沢  
心機一転、進学する学校で頑張ります。



**KONNO  
KENJI**

金野健司 一関市千厩町  
たくさんの思い出を大切にしていきたいです。



**SATO  
NAOMI**

佐藤直実 藤沢町保呂羽  
社会に出たら、2年は頑張って働きます。



**ENDO  
HIROSHI**

遠藤宏史 一関市千厩町  
岩手を離れてしまいますが、一生懸命頑張ります。



**SUGAWARA  
TAKUYA**

菅原拓也 一関市千厩町  
何事にもくじけず瀬一杯頑張ります。



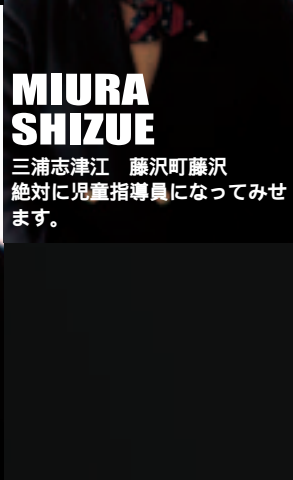
**MOTOKASHIWA  
IKUKO**

元柏育子 一関市千厩町  
新車を買えるくらい頑張って働きます。



**KONNO  
JUN**

金野潤 藤沢町大籠  
健康に気を付けて頑張ります。



**MIURA  
SHIZUE**

三浦志津江 藤沢町藤沢  
絶対に児童指導員になってみせます。



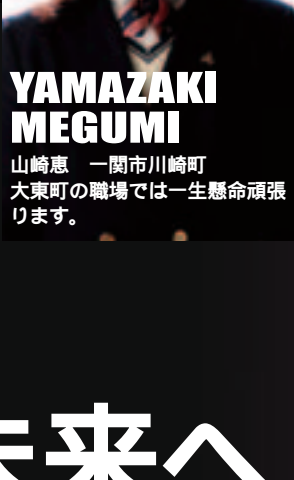
**OIKAWA  
HIROKI**

及川広紀 藤沢町黄海  
社会に出たら精一杯働きます。



**KUMAGAI  
MAKI**

熊谷麻紀 藤沢町藤沢  
専門学校に行っても夢をあきらめずに頑張ります。



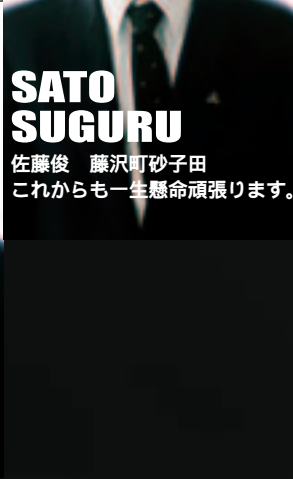
**YAMAZAKI  
MEGUMI**

山崎恵 一関市川崎町  
大東町の職場では一生懸命頑張ります。



**ONODERA  
YOSHIMASA**

小野寺貴栄 一関市千厩町  
これからも夢に向かって頑張ります。



**SATO  
SUGURU**

佐藤俊 藤沢町砂子田  
これからも一生懸命頑張ります。

# 28通りの未来へ 向かって

藤高最後の卒業生28人とそれぞれの思い





# Class A



**ONODERA  
YOSHIE**

小野寺良江 藤沢町保呂羽  
母校はなくなっても、たくさん  
の思い出があってよかったです。



**CHIBA  
ASUKA**

千葉明日加 藤沢町西口  
自分の夢である「図書館司書」に  
なれるよう頑張ります。



**SUGAWARA  
KAZUKI**

菅原和貴 一関市千厩町  
就職しても頑張ります。



**KIKUCHI  
AYUMI**

菊地歩 藤沢町藤沢  
藤高よ、ありがとう。これから  
もマイペースで頑張ります。



**OYAMA  
CHISATO**

小山千里 藤沢町藤沢  
都会でも頑張ります。



**CHIBA  
RINA**

千葉利奈 藤沢町藤沢  
でっかい夢とちっちゃい希望を  
持って一期一会を大切にします。



**ISE  
AKIRA**

伊勢 章 藤沢町西口  
東京へ行っても頑張ります。



**TAKEDA  
NAOTO**

武田直人 藤沢町藤沢  
社会人になっても頑張ります。



**SASAKI  
MICHIKO**

佐々木道子 藤沢町大籠  
3年間ありがとうございました。



**KOBAYASHI  
KATSUYA**

小林克弥 藤沢町藤沢  
バレーを続けます。仕事では、  
最高のパネをつくりたいです。



**MIURA  
YUU**

三浦優 藤沢町新沼  
卒業生として誇りを持って頑張  
ります。支えてくれた皆さん、  
本当にありがとうございました。



**ONODERA  
HOMARE**

小野寺誉 一関市千厩町  
就職しても頑張ります。



**CHIDA  
CHIAKI**

千田智明 一関市千厩町  
進学して頑張りたいです。



**SASAKI  
SUGURU**

佐々木卓 藤沢町黄海  
自衛官として国を守り、大事な  
人を守りたいです。

# 歴史を閉じる

卒業式に続いて行われた閉校式典。

最後の卒業生や同窓生らが、

地域と共に歩んだ藤高の思い出を振り返り、

多くの人材を輩出した歴史を胸に刻んだ。

閉校式で返納する校旗をたたむ男子生徒たち。校旗は生徒から大鹿輝文行校長に伝達され、箱崎安弘県教育委員長に返納された

*The Ceremony of School Closing*





同校最後の卒業生と教職員のほかPTA、同窓会、県教委、町などから関係者約270人が出席した県立藤沢高等学校閉校記念式典。写真は、式辞を述べる箱崎安弘県教育委員長

# 57年の歴史を閉じても 藤高精神と伝統は永遠に

午後一時半から行われた閉校式典には、同校最後の卒業生や同窓生、県教委、町などの関係者約二百七十人が出席

大鹿糠校長は、学びやの灯が消えても、これまで培った

友情や藤高魂は永遠に燃え続けることでしょう。同窓生の

皆さんのますますの活躍を願うとともに、本校を育ててくれた

すべての方に感謝します」と、箱崎安弘県教育委員長

長は、開校から五十七年、藤沢高の発展に支援、協力をい

ただいた町関係者や地域の皆さんに心から感謝します」と

式辞した。

藤高を讃える会の小野寺君雄会長は、母校の思い出を後

世へと語り伝えていくことがわたしたちの使命。長きにわ

たり温かい指導、協力をいた

だいた多くの皆さんに感謝します」とあいさつした。

続いて小野寺会長と大鹿糠校長から歴代校長、教育振興

会長、同窓会長ら功労者に感謝状が贈呈された。

来賓の畠山博町長は、藤沢高の誕生は、戦後の混乱期に

夢と希望を与えてくれました。学校がなくなってもその精神

は永遠に同窓生一人一人の胸に宿り続けると信じていま

す」とあいさつ。県高校協会長代理で統合先の板宮成悦千

厩高校長は、最後の卒業生は、少人数の寂しさを乗り越え、

さまざまな分野で成果を上げ、藤沢高の歴史を閉じるにふさ

わしい活躍を見せてくれました。統合校として身の引き締

まる思いです」と述べた。

生徒を代表して菊地歩生徒会長が閉校に当たり、言

いようのない寂しさと悲しさが込み上げてきます。藤高五

十七年の伝統は、千厩高に受け継がれ、多くの人の記憶に

残るものと信じています。これまで支えてくれた多くの皆

さんへの感謝の気持ちを忘れずに、藤高で学んだことを誇りに、それぞれの道を歩みま

す」と決意を述べた。

校歌斉唱後、生徒の代表がステージで校旗をたたみ、大

鹿糠校長に伝達。大鹿糠校長は声を詰まらせながら、県立

藤沢高校の校旗を返納します」と箱崎県教育委員長に校旗を手渡し、五十七年の歴史

に終止符を打った。

最後に、創立五十周年を記念して平成二十二年から取り

組んできた、よさこいソーランを、卒業生二十八人が力

いっぱい演舞。会場から大きな拍手が送られた。

藤沢高は千厩高との統合が決まった十八年度から生徒の

募集を停止。生徒数が減少する中、生徒、教職員、PTA、

地域住民が一体となって、よさこいソーランや各種ポラン

ティア活動に代表されるオンリー・ワンの取り組みを展開

してきた。半世紀の伝統を受け継いだその姿は最後まで光

(写真右から)箱崎県教育委員長に校旗を返納する大鹿糠文行校長。涙で声を詰まらせた/生徒を代表し、あいさつする菊地歩生徒会長。最後まで藤高の誇りと伝統を守り抜いた/ステージいっぱい最後のよさこいソーランを演舞する28人の卒業生







四十六年、愛宕校舎から現在地(旧藤沢中学校舎)へ移転。五十三年に現在の校舎が落成した。このように、時代の推移とともに幾多の変遷を経ながら施設設備の充実を図り、着実な発展を遂げ、地域教育振興の中心的な役割を担ってきた。

開校から五十七年、この間五千四百九十五人もの人材を地域社会に輩出、卒業生は県内外のさまざまな分野で活躍している。

部活動では、吹奏楽部が五十二年、全日本吹奏楽コンクール岩手県大会Bクラスで金賞、六十一年には最高峰のAクラスで金賞を受賞。六十二年と平成三年には全国高等学校総合文化祭マーチング部門に出場するなど、その名を県内外にとどろかせた。

ソフトボール部は五十六年、岩手県高校選抜ソフトボール大会で準優勝、県南ソフトボール大会では五十六、五十七年と連覇した。そのほか卓球部、バレーボール部、陸上競技部、軟式テニス部も県大会でたびたび上位に入賞、東北大会に出場した選手も多い。

生徒数が減少し、思うように部活動ができなくなった近年は、よさこいソーランをはじめ国際交流活動や各種ボランティア活動など、少数でも取り組める活動に力を入れてきた。中でも全国高校生料理コンクールでは、個性あふれる作品で十六年から三年連続の全国入賞を果たし、平成二年から取り組んでいる環境整備活動「クリーン作戦」は、十九年度国道交通大臣表彰を受けるなど、「少数でも良質」な藤高を全国に発信してきた。

### Fujisawa High School History & Memory

期	期	期	期
41年4月 臨時に普通科1学級増、定員350人	46年3月 愛宕校舎から現在地(旧藤沢中学校校舎)に移転	55年11月 創立30周年記念式典ならびに祝賀会を挙行	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
8月 校舎を増築(特別教室4室)	6月 創立20周年記念式典ならびに体育館落成式を挙行	53年2月 新校舎第2期建設工事に着工	63年11月 体育館床改修
47年9月 部室完成	10月 新校舎落成記念式典を挙行	50年4月 学級数12(臨時増3)、生徒定員540人	60年11月 体育館床改修
49年10月 新校舎第1期建設工事に着工	10月 文部省指定高等専門学校生徒指導研究発表	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
50年4月 学級数12(臨時増3)、生徒定員540人	10月 文部省指定生徒指導研究推進校研究発表	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
53年2月 新校舎第2期建設工事に着工	2年5月 創立40周年	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
55年11月 創立30周年記念式典ならびに祝賀会を挙行	9月 部室の新築に着工	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
56年3月 柔道場が竣工	10月 創立40周年記念事業で校旗を新調、祝賀会を挙行	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	6年3月 グラウンドを整備、体育館を改修	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	8年4月 学級数6(各学年2)と定員240人に。新制服を採用を開始	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	10年4月 新制服の採用完了(全学年着用)	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	11年11月 校舎大規模改修第1期工事に着工	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	12年6月 校舎大規模改修第2期工事に着工	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	10月 創立50周年記念式典ならびに祝賀会を挙行	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	11月 校舎大規模改修第2期工事竣工	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	13年12月 グラウンド防風ネット取り付け	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	15年2月 グラウンド法面災害復旧工事	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	17年8月 県教委が18年度学級数公表(18年度募集停止決定)。千厩高と統合されることになる	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	8月 第1回千厩・藤沢地区高等学校(仮称)整備検討委員会開催	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	9月 第2回整備検討委員会開催	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	18年5月 藤高を讀める会委員会発足	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	19年7月 閉校記念事業として須川岳全校登山を実施	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	10月 閉校記念碑建立・除幕式挙行	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工
7月 テニスコート3面と庭園(而立園)が完成	20年3月 県立藤沢高等学校最後の卒業式ならびに閉校式を挙行	5月 新校舎第1期建設工事が竣工	60年3月 セミナーハウス「遂志館」が竣工

# P H O T O



06



04

04 昭和62年と平成3年には全国高等学校総合文化祭マーチング部門に出場(写真は平成3年8月、高松市で開かれた高文祭)/05 創立50周年記念式典でよさこいソーランを演舞する生徒(12年10月)/06 環境美化活動「クリーン作戦」で国土交通大臣表彰を受賞(19年8月)



同窓生、教職員、町や教育関係者などおよそ200人が出席した思い出を語る会。盛岡や関東からも駆けつけた。

# 思い出を語る

藤高を讃える会(小野寺君雄会長)が主催する、思い出を語る会」は、閉校記念式典終了後の午後三時半から、「まるふくプラザ」で行われた。

「思い出を語る会」には同窓生、教職員(元・前・現)、町や教育関係者などおよそ二百人が出席。藤高五十七年の歴史と伝統を振り返りながら、それぞれ当時の思い出話に花を咲かせた。

藤高を讃える会の小野寺君雄会長と大鹿糠文行校長のあいさつに続き、元校長平成

思い出を語り合い、幸せな気持ちで歴史を閉じたい。閉校記念式典に続いて藤高を讃える会が主催した「思い出を語る会」。

地元はもとより、県内外から大勢の同窓生が駆けつけた。

十三年四月(十五年三月)の小野寺誠四郎さん(一関市)と同窓会盛岡支部長の千田信之さん(昭和三十四年度卒)が、

## Memory

### 「よさこい」と「ふじだな」は藤高の宝

わたしが校長を務めたのは、藤高が最初で最後です。

赴任当時、藤高には二つの宝物がありました。一つは「よさこいソーラン」、もう一つは校報「ふじだな」です。よさこいソーランは3年生の取り組みとして始まりましたが、これを全校の取り組みに発展させ、野焼祭にも参加しました。地元はもちろんよその人からも褒められる取り組みに成長しました。

手作りで行っていた「ふじだな」は、保護

者はもちろん地域の皆さんにも見ていただき、藤高への理解を深めてほしいと思いました。そこで毎月、自ら地域に配達に出かけ、たくさんの人たちと知り合うことができました。同窓生や元・前教職員にも送りました。

最近の藤高は、以前にも増して輝いています。わたしが校長だったころよりも生き生きしていて、嫉妬するほどでした。そんな素晴らしい学校が閉校することは本当に残念ではありません。

ONODERA SEISHIRO  
小野寺誠四郎さん  
第18代校長平成13年(15年月)





卒業式と閉校式で校歌をピアノ伴奏した

## 千葉侑衣さん

大学4年 保呂羽出身 平成15年度卒

埼玉県にある東邦音大でピアノを学んでいます。古里を離れて4年目になりますが、同窓生として卒業式と閉校式で校歌を伴奏することができて光栄です。校歌を伴奏しながら、次第に感情が込み上げてきました。そして校旗が返納された時は、「ああ、これで藤高はなくなってしまうんだ」と思い、悲しさと寂しさが胸がいっぱいになりました。母校がなくなることは本当に寂しいです。



C H I B A Y U I

藤高最後のPTA会長を務めた

## 金野 隆さん

会社員 大籠字中在 昭和48年度卒

閉校式で校旗が返納された時は、さすがに込み上げるものがありました。今は「本当に終わってしまったんだ」という気持ちです。歴史は語り継がれるものですが、学校は心のよりどころでもあり、自分たちが活躍した場所がなくなることは寂しいものです。藤高がなくなっても、ここで過ごした時間は決して消えません。卒業生には誇りを持って頑張ってもらいたいです。



K O N N O T A K A S H I

学校医として生徒の健康を守った

## 千葉 康さん

歯科医師 藤沢字町裏

父と2代にわたって、藤高の学校歯科医を努めました。閉校はとても残念です。閉校式と思い出を語る会に参加して、昔のことが懐かしく思いました。「若いころは父と2人で検診したな」「恥ずかしがって口を開けない生徒がいたな」「制服や髪型も変わったな」など、いろいろなことを思い出しました。叔父も教員として藤高にお世話になりました。地元の高校がなくなるのは、本当に寂しいです。



C H I B A K O U

親子二代で藤高を卒業した

## 及川美重子さん

理容師 藤沢字町裏 昭和48年度卒

親子で藤高を卒業しました。閉校式で校旗が返納された時は、寂しくて涙が止まりませんでした。高校時代は一番楽しい青春時代でもあります。学校から見える美しい山々。須川岳も見えました。陸上競技に励んだ部活動。楽しかった思い出が次々とよみがえりました。藤高は素晴らしい学校です。最後の卒業生には、「わたしは藤沢高校出身です」と自信をもって社会に出てほしいですね。



O I K A W A M I E K O

それぞれ思い出を語った。第十八代校長を務めた小野寺さんは、藤高の二つの宝物である「よさこいソーラン」と校報「ふじだな」が思い出深い」と語り、同窓会盛岡支部長の千田さんは、創立十周年の記念すべき年を、飛躍の年にしよう、部活動を掛け持ちで頑張りました」と振り返った。

来賓の金野隆<sup>たか</sup>PTA会長は「卒業生は、先生方や同窓会の皆さんのおかげで、最後まで不自由なく過ごすことができました」と感謝し、「寂しさ募る閉校の中で、元々中学校だったこの校舎を再び藤高に返すことができることは唯一の喜びです」と述べた。

思い出を語る会には、関東支部からも大勢駆けつけた。乾杯後の懇談では、懐かしい仲間との再会や思い出話で盛り上がり、あちこちで記念撮影をする姿も見られた。

語る会の小野寺会長は「閉校記念式典だけでは、寂しい気持ちで終わってしまいませぬ。みんなで集まって当時を振り返り、思い出に花を咲かせることで、幸せな気持ちで歴史を閉じたかった。本当にやってよかったです」と笑顔を見せた。



## 千田 信之さん

同窓会盛岡支部長 昭和34年度卒

### Memory

## 創立10周年の節目を輝く年にした

第2代山内源陸校長先生が赴任した草創期の昭和32年に入学しました。

2年生の時には、翌年の創立10周年を前に「来年は10周年だから、各種大会で活躍できるように頑張ってもらいたい」と先生から発破を掛けられ、多くの生徒が運動部と文化部を掛け持ちで頑張ったことを覚えています。

その年は、硬式野球部が誕生したり、陸上部が日報駅伝(盛岡・一関間)で15位に入る活躍を見せたりと大いに盛り上がりました。演

劇部に所属していたわたしは、劇作家岡本綺堂の「修善寺物語」を上演し、源頼朝の役を任されたことが思い出深いです。

こうして34年、わたしたちは、最高学年としてさまざまな分野で成果を上げ、飛躍の10周年を飾ることができました。

草創期の3年間、創立10周年の節目を、仲間と共に無我夢中で頑張りと、「ここに藤高あり」の歴史を後輩に継承できたことは、わたしたちの誇りです。

# 菊地歩

藤高最後の卒業生であることを誇りに思います。支えてくれた多くの人たちに心から感謝します。

わたしたちが1年の夏に閉校が決まりました。後輩のいない学校生活は経験したことがなく、驚きと寂しさを感じたことを今でも覚えています。

先輩が卒業していくたびに生徒は減る一方で、部活動も思うように活動できなくなりました。そして、部員不足から部活動を続けられない部が相次ぎ、とても寂しい気持ちになりました。

でも、少人数でも先輩たちが築いた伝統を守り、最後まで輝きたいという気持ちがありました。何をやるにも一人当たりの仕事量は増えますが、逆に協力しあう気持ちが芽生えました。一人一人とのつきあいは親密になり、以前にも増して仲間意識や協調性が深まりました。先生方とのきずなも深まり、学校全体の団結力は高まったと思います。

藤高祭をはじめ生徒会活動や学校行事では、準備から運営まで先生方がいっしょに汗を流してくれました。大きな行事にはPTA、同窓会や地域の皆さんがいつも参加してくれました。学校という場で、地域の皆さんといっしょに作業できたことは、とても良いことだと思いました。

藤高祭では、PTAの皆さんが全員参加して、もちつきやたこ焼きなど、裏方で頑張ってくれました。同窓会の皆さんもあらゆる面で支援してくれました。

昨年から取り組んだアルミ缶回収は、「ふじだな」を通じて地域の人たちにも呼びかけたところ、たくさんアルミ缶が学校に届きました。その益金に生徒会の余剰金をプラスして4台の車いす

を購入し、光栄荘と老健ふじさわに寄贈することができました。

わたしたちは3月1日、藤高最後の卒業生として、この学びやから巣立ちました。自分たちが過ごした3年間は、57年の歴史と伝統を受け継いできた3年間でもあります。藤高57年間の歴史は3月で閉じますが、これまで五千を超える先輩たちが築き上げてきた藤高の精神と伝統は、ここに移転する藤中に校舎と一緒に受け継いでほしいと思っています。

藤高といえば、「よさこいソーラン」「活発なボランティア活動」「国際交流活動」など、小さくても誇れるものがたくさんあります。わたしたちは少人数でも、できる範囲のことはすべてやりきったという達成感を感じており、「こういうのが藤高なんだ、伝統なんだ」と今になってひしひしと感じています。

最後の卒業生28人は4月から、それぞれの未来に向かって、別々の道歩みます。わたしは宮城県内の専門学校に進学します。選択授業で簿記と出会い、その楽しさを知りました。自分に合っているともっています。在学中に資格も取りました。将来は、事務の仕事に就きたいと思っています。

今、わたしは、藤高に入学し、卒業できたことを心から誇りに思っています。おそらく卒業生みんなが同じ気持ちではないかと思います。これまで支えてくれたすべての皆さんに心から感謝します。本当にありがとうございます。

生徒会長の思い  
菊地歩生徒会長

Kikuchi  
Ayumi





# 大鹿糠文行

小規模校、後輩不在、困難を乗り越えた経験は、  
これからの人生、必ず役に立つと信じています。

昨春、閉校を知った上で赴任し、「生徒と教職員が心を通わせられる学校、生徒一人一人を大切にできる学校」を目指し、小規模校ならではの、きめ細かい指導をしてきました。

生徒が「藤高に入学してよかった」と、保護者の皆さんが「藤高に入れてよかった」と、そしてわたしたちが「藤高に勤務してよかった」と思える年にしようと、職員会議で話したことを覚えています。

先日出来上がった生徒会誌の後半に、生徒の言葉が載っていますが、ほとんどの生徒が「藤高に入ってよかった」と書いています。

閉校が決まったのは、卒業生が1年の夏でした。28人は後輩のいない3年間を過ごし、自分たちが受け継いだ伝統を次に伝えることができない寂しさと葛藤しながらの学校生活を送ってきました。つらかったと思います。それでも、藤高の伝統を受け継いだ以上は有終の美を飾ろうと、知恵と力を結集し、クラスマッチ、全校須川岳登山、そして藤高祭など、あらゆる行事を成功させてきました。

28人でできないことは、PTA、同窓会、地域の皆さんに支援、協力をいただき、藤高祭には前年並みの250人の参加がありました。あらためて藤高は地域に育てられ、支えられながら成長発展してきたのだと実感しました。同時に、藤高が閉校したら藤沢の人たちは、きっと寂しい気持ちになるのだろうと常に思っていました。

地域とかわりながら一步一步前進

してきた地道な活動は、さまざまな分野で成果を上げました。中でも平成2年から始まった環境美化活動「クリーン作戦」は昨夏、国土交通大臣賞を受賞する快挙をなし遂げました。歴代の先輩たちが築いてきた伝統を最後の卒業生28人がしっかり受け継ぎ表彰されたことは、学校だけでなく、地域全体の喜びでもあり、本当によかったと思っています。

卒業式では28人の名前を呼び、「おめでとう」と声を掛けましたが、一人一人の顔を見てジーンとききました。少数だからこそ生徒との距離は近く、家族のようにつきあってきました。毎日の学校生活はもちろん、進学や就職の面談まで担任といっしょにやりました。長い教員生活の中で、決して忘れることの出来ない生徒、そして学校です。

卒業に当たり、生徒たちに三つの言葉を贈りました。一つは「困難に打ち勝つ強い気持を持つこと」、二つ目は「何事にも誠実に向き合うこと」、そして三つ目は「思いやりの心を持つこと」です。小さな学校、後輩のいない学校で、大規模校にも負けない素晴らしい活躍をしてきた経験は、社会で必ず役に立つと信じています。

最後に、藤高の先生たちは6年から8年も勤務している人がほとんどです。「閉校まで生徒と一緒に過ごしたい」と自ら希望したものです。そういう教職員と3年間を過ごせたことも、「藤高に入学してよかった」と思える一つの理由ではなかったかと思います。先生方にも心から感謝しています。

Okanuka  
Fumiyuki

学校長の願い  
大鹿糠文行校長

# 半

世紀にわたって、地域教育の中核を担ってきた藤高がなくなることは本当に残念です。

少子化が進む中、人に寿命があるように、学校にも終わりがあがることは、仕方ないことなのかもしれません。

5,500人もの卒業生を世に送り出した藤高。同窓生たちは全国各地で活躍しています。学校はなくなっても、一人一人の心の中には藤高の精神、歴史、伝統、思い出が、きっといつまでも生き続けることでしょう。

閉校は、計画より一年前倒しで進められました。同窓生からは、「なぜ前倒しするのか？」という声もありましたが、入学生が激減する中、満足できる高校教育を実践するには限界でした。

学校は集団生活の場です。主役は生徒です。適正規模に満たなければ、あらゆる活動に支障が生じます。さらに生徒の減少は生徒会、部、PTAなどすべての学校活動の予算減につながります。つまり一人当たりの負担を大幅に増やさなければ、継続して活動できなくなってしまうのです。

同窓会は、積み立て基金を学校の活性化に役立ててほしいと寄付したこともありましたが、閉校という判断は間違っていなかったと思っています。

# 藤

高は県立校ですが、佐藤守前町長の時代から、町長が教育振興会長を務め、町を挙げて学校を支援してくれました。「県立でも町立」という佐藤町長の考えは、すっかり地域に定着。そんな住民意識が生徒や教職員にとって、どれだけ励みになったかわかりません。

閉校式典に出席された箱崎安弘県教育委員長は「藤沢はすごいですね。町長さんはじめ町民の皆さんが心から藤沢高校を大切に思い、支えてくださっている。本当になくすことが惜しい学校」と話していました。

わたしは昭和38年卒業ですが、当時は、藤高がなければ、高校進学をあきらめた人がたくさんいたはず。そのころ車を持っていた家はほとんどなく、親が通学の送迎をするなんて考えられませんでした。地元で高校があればこそ進学できたのです。わが家からは兄弟4人、子ども2人が藤高で学びましたが、これが一関、千厩、花泉、津谷などの高校に行くとなれば、お金が続きません。地元で高校があれば、わたしをはじめ多くの同窓生が高校進学をあきらめたことでしょう。

そのことを一番強く感じているのは、戦後間もない混乱期に高校生活を送っ

た草創期の皆さんではないでしょうか。「地元で高校を」と、津谷川や大籠の県境まで片道十数<sup>+</sup>の道のりを歩いて署名を集めたそうです。藤高をつくることは、多くの人の夢だったんですね。

# 藤

高には藤中が移転し、校舎やグラウンドが引き継がれます。役場通りは、高校生に代わって中学生の通学路となり、これまでどおりにぎわいます。商店街も潤います。校舎と共に地域に支えられ成長、発展してきた藤高の精神を、藤中が受け継いでほしいと願っています。

最後に、記念碑に揮ごうした「遂志」という言葉は、郷土の俳人高橋東泉先生の「志をとげんかな」に由来しています。これは教育目標の一つでもあり、セミナーハウス「遂志館」をはじめいろいろな分野で使わせていただきました。

閉校に当たって今思うことは、学校としても立派に役割を果たし、そこで学んだ同窓生一人一人も志を遂げたのではないかということです。昨夏、受賞した国土交通大臣表彰がまさにその象徴です。寂しさが込み上げる一方で、半世紀にわたる努力と継続の上に築き上げた輝かしい歴史と伝統を、後世まで語り伝えていくことが、今に生きるわたしたちの使命だと感じています。

## 輝かしい歴史と伝統 後世へと語り継ぎたい

藤高を語る会・藤沢高校同窓会

# 小野寺君雄<sup>会長</sup>

profile

おのでら・きみお

昭和19年藤沢町生まれ。35年4月藤沢高入学。38年3月卒。普通科第10回卒業生。卒業後は、大籠農業協同組合(=現J Aいわい東)に就職。平成12年に退職。17年4月から第36区行政区長。19年4月から藤沢町行政区長協議会長。保呂羽字口舟在住、63歳





**ONODERA KIMIO**

藤沢高校舎前の庭園「而立園」に  
「遂志の碑」

閉校に当たり同窓会やPTAで  
組織する「藤高を讀める会」(小野  
寺君雄会長)が昨年十月、建立し  
たものだ。碑の名は、郷土の俳人  
高橋東臯(ちゅうさう)の書「遂志」に由来する。  
ここで学ぶ生徒一人一人がそれぞ  
れの志を遂げるために努力を重  
ねた場、研鑽を積んだ場であるこ  
とを意味する。

昭和二十五年、地域の熱望で誕  
生した藤沢高校。県立校だが町立  
校同様に多くの町民に愛され、支  
えられ、輝かしい歴史と伝統を築  
いてきた。ここで学び、ここから  
巣立った同窓生は、全国各地で活  
躍しており、同校が地域の高等教  
育に果たしてきた役割は、言うま  
でもなく大きい。

「地元は藤高がなければ、高校  
進学をあきらめていたかもしれな  
い」と振り返った小野寺君雄会長。  
一〇〇パーセント近い人が高校進  
学をする今、あらためてその言葉  
が持つ意味の大きさを感じた。

特集を編集するに当たり、多く  
の関係者から話を聞いた。

学校は、父母や同窓会が支えて  
くれたから」と、PTAは、学校や  
同窓会のおかげ」と、そして同窓  
会は、生徒や教職員が頑張ってい  
るから」と、互いをねぎらう言葉  
ばかりが聞こえてきた。

全国的に「学校が悪い」「親が悪い」と責任転嫁の言葉が飛び交う  
教育現場が増えている時代、信じ  
合い、認め合い、支え合って生徒  
を育ててきた藤沢高に、教育の原  
点を見た思いだった。しかも、県  
立高校である。

平成二十年三月一日――

同校は五千四百九十五人目の卒  
業生を社会に送り出し、五十七年  
の歴史を閉じた。閉校記念式典で、  
箱崎安弘県教育委員長に校旗を返  
納した大鹿糠文行校長。生徒、教  
職員、父母、同窓生ら大勢の関係  
者が見守る中、生徒代表が竿から  
外したフジ色の旗を、涙で声を詰  
まらせながら箱崎委員長に手渡し  
た。歴史が閉じた瞬間、会場のあ  
ちこちからすすり泣く声が聞こえ  
てきた。

取材を通して、教育とは何か。  
人を育てることは何かを考えさせ

られた。たどり着いた答えは、知  
識でもなければ技術でもない。教  
職員が、父母が、同窓会が、生徒  
と、学校と、地域と正面から向き  
合う愛と情熱だった。

「わたしが藤高に勤めたのは一  
年だけでしたが、うちには、六か  
ら八年も勤めた先生がたくさんい  
ます」

誇らしげに語った大鹿糠校長。

「閉校まで生徒と一緒にいたい」と、  
異動を希望しない先生がほとんど  
だったという。若い先生の中には、  
二十代のほとんどを藤沢で過ごし  
た人も少なくない。

歴史は閉じた。しかし、終わり  
ではない――

校舎やグラウンドなど藤高の施  
設は後輩たちに引き継がれる。父  
が、母が、兄が、姉が通った高校  
は今年の夏、中学生の学びやとし  
て生まれ変わる。

新しい歴史の始まりを、みんな  
で応援していきたい。ここで学ぶ  
生徒一人一人が、それぞれの志  
を遂げる場」となることを心から  
願って。

特集 遂志 完

# 遂志――。いなかからもう一つの場所まで。



藤高を讃える会が建立した「遂志の碑」には、「嘗て藤沢高等学校がこの地にあり、多くの青年が志を遂げようと学んだ」と記されている。小野寺会長が揮ごうした。除幕式は同校文化祭「藤高祭」とあわせて昨年10月28日に行われた。



健診はこのように  
変わります

**これまでの健診**

職場の事業所健診  
健康保険の一般・成人健診  
や生活習慣予防検診  
市町村の基本健康診査



**特定健診・特定保健指導**

医療保険者が加入している  
被保険者・被扶養者(家族)に実施  
[医療保険者]  
国民健康保険 組合健保  
政府管掌健康保険 共済組合

40〜74歳すべての人が対象  
メタボの予防と改善が目的  
四十一〜七十四歳の人を対象にした「特定健診」と「特定保健指導」が今年四月からスタートします。  
この制度は、年々増加する医療費を抑えるため、医療費全体の約三割を占める生活習慣病の要因にもなっている、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を予防、改善しようとするものです。  
加入している保険の医療保険者が実施します  
特定健診や特定保健指導は四十一〜七十四歳のすべての人が対象で、皆さんが加入している医療保険者が実施します。  
医療保険者とは 市町村

国民健康保険 国民健康保険組合 健康保険組合 政府管掌保険組合 共済組合  
―などで、保険証を見れば医療保険者を確認することができます。  
町の国民健康保険(国保)に加入している人は、町が実施する健診・保健指導を受診することになります。  
会社などに勤めている人は、加入している医療保険者が行う健診を受診してください。  
なお、家族も扶養者が加入している医療保険者が実施する健診・保健指導の対象になります。国保以外の健康保険に加入している人やその家族は、勤務先が加入する医療保険者に実施の日程や受診の方法など詳しい内容を確認してください。  
七十五歳以上の人は、「後期高齢者医療制度」とい

# 健診が変わる

## メタボに着目した 特定健診と特定保健指導

今年4月から健診が変わります。  
「特定健診」と「特定保健指導」はメタボ予防に向けた新たな制度。  
そのあらましを紹介します

町民課  
国民健康保険係  
☎63-2111内線256  
保健センター  
☎63-5304





### 後期高齢者医療制度 高齢者の医療制度が 変わります

今年4月から、75歳以上(一定の障害がある人は65歳以上)の人は全員、「後期高齢者医療制度」という新しい制度で医療を受けることとなります。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の人の心身の特性や生活の実態などを踏まえ、新しく創設された医療制度で、これまでの老人保健制度とは異なりますので十分に注意してください。

#### 後期高齢者医療制度の ポイント

対象は？

75歳以上の人

65～74歳で一定の障害があり、認定を受けた人

保険証は？

新しい保険証が一人に1枚発行されます。3月中旬に配布を予定しています。

給付は？

現行の老人保健制度で受けていた給付とほぼ同じです。

保険料は？

健保組合の被扶養者だった人も含め、対象者(被保険者)全員が納めます。納付方法は、原則年金から天引きされます。

医療費の窓口負担は？

病院など医療機関の窓口で支払う自己負担の割合は、現行の老人保健制度と同じです。一般の人は1割、現役並みの所得者は3割負担です。

運営主体は？

都道府県の区域ごとにすべての市町村が加入する「後期高齢者医療広域連合」が運営します。ただし、保険料の徴収や窓口業務は市町村が行います。

[問い合わせ]

後期高齢者医療制度に関する  
詳しい問い合わせは役場町民課まで

役場町民課国民健康保険係

☎63-2111内線255

対象年齢	加入保険	回数	実施主体	健診会場
40～74歳	藤沢町国民健康保険	年1回	藤沢町	町民体育館 地区健康センター 町民病院
	政管健保、船員保険組合健保、共済組合など		各医療保険者	加入保険者や勤務先から確認
75歳以上	岩手県後期高齢者医療保険		藤沢町(県後期高齢者医療広域連合から受託)	町民体育館 地区健康センター

う新しい制度で医療を受けることとなります。特定健診は努力義務とされており、

生活習慣病等で受診している人は対象から除かれます。岩手県後期高齢者医療広域連合から委託を受けた健康診査として町が実施します。健診の実施主体は市町村から医療保険者へ

特定健診は医療保険者が実施の義務を負うこととなります。対象者は、加入している医療保険者が指定する健診機関で受診することになります。

今まで基本健康診査を受けていた人は、今後、医療保険者からの通知や広報等に從って健診を受けることとなりますので注意してください。

詳しくは、役場町民課まで問い合わせてください。

## 持ち物

健診には「国保保険証」と「受診券」が必要です

町の特健診を受ける場合は、年齢などで必要な持ち物が違います。受診の際は確認の上、忘れず持参してください。

①40～74歳＝国保の保険証、特定健診受診券

②75歳以上＝後期高齢者保険証、健康診査受診票

③生活機能評価が必要な人＝生活機能評価受診券

## 受診

がん検診や生活機能評価などの受診は従来どおり

がん検診や特定健診以外の各種「検診」と「健診」は、従来どおり町が実施します。65歳以上で生活機能評価が必要な人も従来どおり引き続き検査を受けることができます。生活機能評価受診券は町が発行します。

## 通知

各医療保険者から健診の通知が届きます

健診の通知書や受診券は①国保に加入している40～74歳の人には町から届きます。②75歳以上の後期高齢者医療保険の人には、岩手県後期高齢者医療広域連合から委託を受け、町から通知書が届きます。③政管健保や共済組合などの社保に加入している人には、それぞれの医療保険者から届きます。

## （ここが変わる）

従来の健診と保健指導

健診は病気の早期発見・早期治療が目的  
保健指導は病気ごとに実施

[糖尿病]

運動習慣と食事制限で血糖をコントロールする

[脂質異常症]

1日1万歩を歩く。間食や揚げ物の注意を促す

[高血圧]

食塩の摂取は1日10g未満に制限する

特定健診と特定保健指導

健診はメタボリックシンドローム該当者および予備群の抽出が目的  
保健指導はリスク別に必要に応じて実施

健診はメタボリックシンドローム該当者および予備群等を階層化

メタボ該当者

メタボ予備群

非該当者

積極的支援

動機づけ支援

情報提供

リスクに合わせて保健指導

自分の状態に合った指導を受けられる。健診データは医療保険者が保管し、レセプトと合わせた分析なども行うので、継続的・効果的な健康管理を受けられる。

## 表彰された皆さん(敬称略)

## ①コミュニティ花壇表彰

[自治会花壇] 最優秀賞 = 千松 優秀賞 = 11区、29区 奨励賞 = 1区、3区、12区、18区、27区、37区[自治会フラワーロード] 最優秀賞 = 39区 優秀賞 = 2区、深萱、41区[個人・事業所花壇] 最優秀賞 = 佐藤トキ子(29区) 優秀賞 = 皆川チヨミ(11区)伊東ミヨ子(12区) 奨励賞 = 熊谷衣子(23区)インテグラン岩手工場(38区)[個人・事業所フラワーロード] 最優秀賞 = 菅原秀子(39区)

## ②交通安全表彰

[優良運転者2輪]加藤タミ子(34区)山口省一(37区)星富美枝(28区)[同4輪]及川もと子(5区)三浦スズ工(34区)三浦幸一(26区)星達夫(34区)千葉新一(37区)佐藤美代子(5区)佐川成喜(13区)佐藤久(30区)三浦トシ子(34区)三浦幸喜(26区)尾形禎信(1区)小野寺敏夫(7区)佐藤久寿(33区)三浦美喜子(28区)佐藤一朗(3区)[飲酒運転追放優良自治会]小日形、43区、29区、千松、18区、深萱、26区、2区、17区、上大籠、1区、9区、中山、24区、28区、35区、4区、七日町、曲田、30区、33区、45区

## ③防犯表彰

[防犯功労者]千葉庄一(37区)佐藤佳男(5区)小野寺昭雄(29区)小野寺篤志(8区)伊東勝(17区)佐々木昭午郎(18区)熊谷昇(35区)阿部浩(6区)小野寺政夫(38区)千葉昭治(13区)佐藤清英(43区)熊谷功(10区)佐藤紀雄(24区)

## ④生徒指導連絡協議会表彰

[非行防止標語] 最優秀賞 = 小山花月(藤沢中2年) 優秀賞 = 佐藤光姫(保呂羽小3年) 入選 = 阿部美咲(藤沢小5年)佐藤幸祐(同6年)村上友也(黄海小4年)須藤亮浩(同5年)及川航(同6年)田島麻由(徳田小6年)高橋迪大(同6年)及川汐南(保呂羽小4年)千葉天馬(大籠小4年)菅原はづき(藤沢中3年) [交通安全標語] 最優秀賞 = 星英江(藤沢小6年) 優秀賞 = 佐藤藍美(新沼小6年) 入選 = 阿部美咲(藤沢小5年)首藤美咲(黄海小1年)三浦敦翔(同2年)昆野藍加(同4年)熊谷天絵(新沼小6年)及川汐南(保呂羽小4年)千葉光隆(同6年)小山佳奈(藤沢中1年)矢尾板祥之(同1年)熊谷彩香(同2年)

(以上敬称略)

「やさしいまち」をテーマに  
地域づくりフォーラム

自治会花壇優秀賞の表彰を受ける千松自治会

町自治会協議会小野寺恒雄(会長)の十九年度地域づくりフォーラムは二月九日、縄文ホールで開かれ、各種表彰、女性団体の活動報告、高見尚武氏の講演などを通して協働のまち

づくりの一層の推進を誓いました。

「豊かな自然、こころ安らぐやさしいまち藤沢の実現に向けて」をテーマに開かれたフォーラムには、自治会、被表彰者、関係機関・団体の代表者など約三百五十人が参加。第一部では コミュニティ花壇 交通安全 防犯 生徒指導連絡協議会―の四部門で表彰が行われ、三十六団体、六十一人に賞状や記念品が贈られました。

女性団体の活動報告では、町女性組織連絡協議会の千葉とき子会長と町自治会女性部協議会の須藤千代子(チヨコ)会長が、それぞれ本年度の取り組みを紹介しました。あいさつに立った小野寺会長は、少子高齢化が進み、限界集

落が顕在化している中、自治会が果たす役割をみんなで確認しあい、行政と共に誇りある古里をつくっていきましょう」と述べました。

来賓の畠山博(ひろ)町長は、住民、行政、各種団体が共に新しい価値をつくり上げる『共創』が必要。みんなが安心して暮らせるやさしいまちづくりを進めたい」と述べました。

第二部では、災害リスク研究会高見尚武代表が、安全な地域社会を創るには「災害に備えて心にゆとりを！」と題して講演。高見氏は、日本の社会はリスクに弱い。安全な地域の実現には、リスクに強い地域が重要」と訴え、個人、家庭におけるリスクの把握を呼びかけました。

## 還暦迎えた同年者が「耳順宣言」、一層の活躍を誓う



出席者全員で「耳順宣言」を行った60歳同年の集い。互いの健康を祝い、今後の活躍を誓った

町60歳同年の集い(同実行委員会主催)は2月24日、まるふくプラザで開かれ、還暦を迎えた同年者が、互いの健康を祝い、充実した人生を歩むことを誓いました。

今年の対象者は、昭和22年4月2日から23年4月1日までに生まれた159人。同年の集いには、このうち44人が出席しました。

午後4時から行われた「耳順式」では、佐藤隆治委員長が「激動の60年を歩み、家族を守り、社会の一員として参加する中で、微力でも大きな塊として社会に貢献できた」とあいさつ。

耳順宣言では「還暦に当たり、同年の連帯を大切にしながら心身共に充実した人生を歩み、夢と誇りをつないでいきます」と誓いました。



# 国民年金

シリーズ[平成年金事情]  
—連載②—

国民年金に関するあれこれを  
4コマ漫画で紹介します。



## CHALLENGEDAY

チャレンジデー 2008 in Fujisawa

### 本町は山形県飯豊町と対戦

5月28日曜日に開かれるチャレンジデーの対戦  
相手は「山形県飯豊町」に決まりました。

[いいまち]

面積 329.60km<sup>2</sup> 人口 8,571人 町の木 モ  
ミジ 町の花 ユリ 特産品 いいで牛、グリーン  
アスパラ 特区 どぶろく特区

「めざみの里」と呼ばれる飯豊町。みんなで仲良く  
いっしょにまちづくり  
を進めています。「め  
ざみ」は、フランス語  
の「Mesamies」親しい  
友達の意味から。目  
覚めるとい希望も込  
められています。



詳しくは下記まで

[問]実行委員会事務局(海洋センター内)  
☎0191-63-5551

## 館ヶ森に「天空のサバンナ」 今春、岩手サファリパークが開設

今春、館ヶ森エリアに、岩手サファリパークがオープンします。東北サファリパーク(本社・福島県二本松市、資本金五千万円、従業員二百三十一人)の熊久保社長が二月二十七日、文化交流センターで開かれた開設発表記者会見で明らかにしたもので、黄海上曲田地内に「サバンナを再現したようなサファリパークをつくりたい」と語りました。

動物もあり、同社は年間二十万人の集客を見込んでいます。現在、藤沢館ヶ森天空のサバンナ」をコンセプトに開設準備が進められており、早ければ三月中にもオープンする予定です。敷地内にはマンドリル、マントヒヒなど約百頭を飼育・展示する世界のモンキーセンターも開設。サル劇場 フラミンゴショー サルとのふれあい広場など、多彩な企画で入場者を楽しませる計画です。

記者会見には熊久保社長ら東北サファリパークの役員六人と、館ヶ森町長ら町関係者が出席。熊久保社長は、当初は動物のえさとなる採草地を求めて藤沢町を訪ねましたが、現地を見て、ここならアフリカをイメージした天空のサバンナを実現できると判断し、進出を決めました。他のサファリパークにはない広大な施設を造りたい」と言葉



開設発表記者会見で握手を交わす熊久保社長(右)と館ヶ森町長

## 「小さな親切」実行章を受賞

第40区のわんぱくちょボラ

第40区自治会の児童18人と大人8人で行くボランティアグループ「わんぱくちょボラ」(佐々木昭夫会長、会員26人)に、このほど小さな親切運動東京本部(田中義具代表)から「小さな親切実行章」が贈られました。

贈呈式は2月8日、岩手銀行藤沢支店で行われ、熊谷達男支店長から佐々木会長に賞状が伝達されました。同実行章は思いやりの心を育てることを目的に、ボランティア活動などで活躍している団体などを表彰する制度。「小さな」は大きさではなく、誰もができる親切を意味しています。

平成14年に結成された「わんぱくちょボラ」は、子どもを地域の宝としてみんなで見守り、子どもたちの健全育成や世代間交流を推進するボランティアグループです。古里の環境を守るため、地元の川にEM活性液を投入したり、お盆の時期に「チャリティー夏祭り」を開き、フリーマーケットや夜店の益金で「ドッチビー」の遊具を大籠小学校(堀籠智志校長、児童37人)に寄付したりしました。

佐々木会長と事務局の佐藤みえ子さんは2月18日、受賞報告に役場を訪れ、畠山博町長



と沼倉憲二副町長に実行章を披露しながらこれまでの活動などを報告しました。

佐々木会長は「日常の小さな活動が評価されたことはこれからの活動に励みになります。子どもたちのためにこれからも続けます」と、畠山町長は「地域の宝である子どもをみんなで見守り、育てることこそ最大のボランティア。このしくみこそちょボラの一番の宝です」と語りました。

町役場を訪れ、畠山博町長と沼倉憲二副町長に受章を報告する佐々木昭夫会長と佐藤みえ子さん



沿道の住民に火災予防を呼びかけた藤沢幼稚園・保育園の園児たち

## 園児が火の用心呼びかける

藤沢幼保園が防火パレード

藤沢幼稚園(皆川哲也園長、園児23人)、同保育園(千田恵子園長、園児90人)の防火パレードは3月4日、藤沢商店街で行われ、法被姿の園児たちが沿道の住民に火災予防を呼びかけました。

春の全国火災予防運動期間(1 - 7日)に合わせて行われたパレードには、幼年消防クラブを結成している同園の4・5歳児64人と園職員、町や消防関係者などが参加しました。

法被をまとった園児たちは拍子木を鳴らしながら商店街を練り歩き、「火の用心」を呼びかけていました。

## 神事でシーズンの安全祈る

スポーツランド安全祈願祭

藤沢スポーツランドの安全祈願祭は3月9日、現地で行われ、関係者らが今シーズンの安全を祈りました。

午前9時から行われた祈願祭には、町、町教育委員会、町モータースポーツ協会やMFJ東北などの役員、スタッフ、県内外のライダーなど約100人が参加。畠山博町長、近江育夫町モータースポーツ協会会長、ライダーの代表らが神事を行いシーズン中の安全を願いました。

開設18年目の今季は、6月1日の東北モトクロス選手権シリーズ第2戦を皮切りに、全日本選手権シリーズ第7戦東北大会など全7レースが計画されています。



神事を行い安全を祈願する近江育夫町モータースポーツ協会会長



## アルミ缶回収で車いす寄贈

藤高生徒会が2施設に4台

県立藤沢高校(大鹿糠文行校長、生徒28人)は2月20日、町の福祉に役立ててもらいたいと、特別養護老人ホーム「光荣荘」(椎名良直所長)と介護老人保健施設「老健ふじさわ」(同)に、アルミ缶回収事業の益金と生徒会費の余剰金で購入した車いすを2台ずつ(計4台、25万円相当)贈りました。

同日は生徒会執行部の生徒8人と担当教諭2人、合わせて10人が両施設を訪問しました。アルミ缶回収事業のリーダーを務めた小山千里運動・文化部長(3年)が「町民の皆さんにも協力していただき車いすを贈ることができました。長い間、藤沢高のボランティア活動に協力いただきありがとうございました」とあいさつ。椎名所長と工藤博信福祉医療センター事務局長が「皆さんのまごころを大切に、有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

アルミ缶回収事業は、夏休みを利用して町が開催している「ケア・チャレンジスクール」などでお世話になった両施設に、車いすを贈りたいと生徒会執行部が全校に呼びかけ、2年前から取り組んできました。



学校だけでなく町民の協力もあって、2年間で約630\*<sup>kg</sup>もの空き缶やプルタブを回収しました。

菊地步生徒会長(3年)は「普段からお世話になっている施設に贈ることができてうれしいです」と、平野忠明担当教諭は「生徒や教職員だけでなく、父母や地域の皆さんが応援してくれたおかげです」と話しています。

車いすの寄贈に施設を訪問した藤沢高生徒会執行部の生徒と特別養護老人ホーム「光荣荘」の利用者



畠山博町長に入隊の決意を述べる佐々木卓さん(左)

## 自衛隊入隊の決意を町長に

藤高最後の卒業生佐々木さん

県立藤沢高校(大鹿糠文行校長、生徒28人)最後の卒業生で、4月から陸上自衛隊に入隊する佐々木卓さんは3月3日、役場を訪れ、畠山博町長に決意を語りました。

自衛隊岩手地方本部小畑省一関出張所長、及川信一協力会・父兄会長らと訪れた佐々木さんは「厳しい職場と聞いており不安もありますが、藤沢高の卒業生として一生懸命頑張ります」と決意を述べ、畠山町長は「大きな志を持って精進してください」と激励しました。

佐々木さんは多賀城市の陸上自衛隊多賀城駐屯地第119教育大隊に一般曹候補生として入隊します。

## 閉講式兼ね学習成果を発表

生涯学習推進の集いを開催

「19年度生涯学習推進の集い」は3月2日、縄文ホールで開かれました。生涯学習講座「わくわくセミナー」と「趣味の教室」の閉講式を兼ねた集いには、受講生や講師など約120人が参加。受講証の授与、講評、学習成果の発表などが行われました。

あいさつに立った岩淵英生教育長は「わくわくセミナーは来年10周年。豊かな人生を送るため、皆さんの情熱が続く限り継続して開催したい」と述べました。続いて、セミナーと教室の講師11人が講評を行い、受講生はステージで学習成果を披露しました。



1年間の学習成果を発表する舞踊コースの受講者たち





## Books

小学生から

### ルピナスさん- 小さなおばあさんのお話-

バーバラ・クーニー・作/かかげわやすこ・訳  
「大きくなったら世の中をもっと美しくする」とおじいさんと約束したアリス。大人になって、しっかり仕事をこなし、世界旅行もした彼女は人生の最後に三つ目の約束を果たします。

(ほるぷ出版)



一般

### デジタルキッズ ネット社会の子育て

坂本旬・著

パソコン、ケータイ、ゲーム、インターネットと急速に拡大、普及し続けるデジタル社会。便利な反面、顔の見えない会話によるコミュニケーション不全、悪質な犯罪につながる匿名性などの問題が指摘されています。メリット、デメリットを明らかにしながらネット時代の子育ての原則を教えてくれる本です。(旬報社)



幼児

### おおきくなるって いうことは

中川ひろたか・文/村上康成・絵

「おおきくなるっていうことは?」という問いかけに対し、「ようぶくが小さくなること、あんまり泣かないこと」など、なるほどと思う答えが返ってきます。入学、進級するお子さんにおすすめ。

(童心社)



高学年から

### 一瞬の風になれ イチニツイテ・ヨウイ・ドン

佐藤 多佳子・著

サッカーに限界を感じた新二とやる気のない天オスプリンター連、幼なじみの二人が高校の陸上部に入部。ひたすらに走ることが楽しくなり、次第に二人を変えていく三部作。前向きに生きるシンプルな感動が共感を呼び、2007年「本屋大賞」1位にランキングされた本です。

(講談社)

## Book 図書館情報

### 藤沢町図書館から 3月のおすすめ図書

[開館時間]  
9時30分～17時30分  
[休館日]  
毎週④⑤⑥年末年始  
[問い合わせ]  
町図書館 ☎(63)5515

本年度も皆さんにたくさんの本を利用していただきました。よく利用された本のうち、児童書・一般書とでも上位5位までを紹介します。(08年2月末現在)

#### 町図書館年間貸し出しランキング

##### 児童書の部

1	となりのトトロ	宮崎駿[徳間書店]
2	しずくちゃん2	ぎぼりつこ[岩崎書店]
3	ミッケ!ファンタジー	ジーン・マルソーロ[小学館]
4	もったいないばあさん	真珠まりこ[講談社]
5	ミッケ! がっこう	ジーン・マルソーロ[小学館]

##### 一般書の部

1	鈍感力	渡辺淳一[集英社]
2	佐賀のがばいばあちゃん	島田洋七[徳間書店]
3	ホームレス中学生	田中裕[ワニブックス]
4	中原の虹 第2巻	浅田次郎[講談社]
5	な～んだ簡単! シンプルな「和」のおかず	[講談社]



今年ば「しずくちゃん」が大ヒット。「トトロ」の人氣も不滅です(協力:左から千葉和香菜さん、小野寺亜美さん、皆川真里奈さん)

## ぼくとわたしの絵画展



佐藤彩香ちゃん  
さとう・あやか



皆川和泉ちゃん  
みなかわ・いずみ



金野瑠奈ちゃん  
こんの・るな





いつまでも安心して暮らしたい  
一人になっても  
安心して生活させたい

文・写真 ふじの実学園



宮古市在住の社会福祉士木村守男氏を講師に「成年後見制度」について理解を深めた研修会

障害のある子供さんがいる家族の集まりで最後に話されることは、「親が亡くなったら、この子はどうやって生きていくんだろ」「誰がこの子の面倒をちゃんと見てくれるんだろ」ということです。この話が出ると何ともいいようのない静寂、一瞬時間が止ってしまいます。

このような心配は、障害者だけでなく、高齢者も同様です。そのための制度として、日常生活自立支援事業、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度があります。

日常生活自立支援事業は、「あんしんねっと」の愛称で、社会福祉協議会が実施しています。利用できる人は、「自分一人ですべてのことに不安がある」「お金の管理に困っている」人で、

一関地域の利用者は五十八人、そのうち知的障害者は十七人です。しかし、この制度は契約する力がないと利用できません。そこで、判断する力が不十分な場合に利用できる制度が「成年後見制度」です。

ふじの実学園が開所して二十四年。当初からの利用者は四十歳を過ぎ、両親も高齢になりました。ふじの実保護者会連合会は「成年後見制度」を学ぼうと三月一日、研修会を開催しました。講師は宮古市在住の社会福祉士木村守男氏。木村氏は「成年後見制度と福祉なんでも相談」と題して、制度の内容や利用手続き等を分かりやすく説明していただきました。会場には五十人以上の保護者が集まり、熱心に聞いていました。

### 及川愛衣さん

おいかわ・あい 一関市千厩町  
22歳 A型 獅子座 歯科医院受付

### 患者さんの心を癒やす 笑顔のすてきな頑張り屋

千葉歯科医院で受付や会計を担当する愛衣さん。「一月からお世話になっています。早く仕事を覚えたいです」と張り切っています。モットーは明るさ。やさしい笑顔で患者さんを癒やします。

趣味は音楽。「聴くのも歌うのも大好きです」とにっこり。最近、ソウルシンガー清水翔太の

「HOME」に注目しているそう。

高三から点字を習うなど、何事にもトライする頑張り屋。器が大きくて誠実な人が好きなそうですよ。

性格 マイペース  
はまっているもの チョコレート

休日は 昨年からはじめて家族麻雀。最近はお父さんにも勝てるようになりました(笑)

結婚 できれば二十代のうちにしたいです



Smile  
スマイル



Column

「洋一つあんの好きな三月ですね」「別におれ三月好きなごでない。年度末で支払いに追われて楽でないよ」「支払いでなく、三月はいろんな団体の総会続くでしょう」「おれは会議好きでないよ」「だから会議終われば飲み会あるでしょう、大好きでしょう」「飲み会は好きだよ。会議がなければ最高だな」「でも一応やったことにして飲まないよ」「一応やったことにして飲むのはいいが、あるだろうだからと長い会議。早くやめて飲むべし」と言いたい。そんなのぼりだ」「そうでもないでしょう。洋一つあんは異議なし派でしょう」「だから異議なしにいくまでが大変。まず事務局の説明。朗読をして説明しますけど、端から端まで朗読。小学校の国語の授業じゃない、要点だけ言えと」「います、います。なんのために資料渡したんだと言

いたくなるやつ。監査報告なんかもそうですよね」「そうだよ、あれも棒読み。ちよこつと所感を入れれば気が利くの。それに監査報告の棒読みなのにえらく張り切つて一世一代の晴れ姿みたいな気分。ああ家族も呼んでおいてこの姿見せたかった。変にうるうるして、壇上から自分の席に着くときは高見盛が勝ち名乗りを受けて引き上げるとき見たいな顔をして」「そんな人いますか」「いたの。それと下らない質問するやつ。さつき会長があいさつで言ったろつ、聞いてなかったのか。酒飲ませないぞと思うやつ」「ああそれはいまずね。なんとなく議事録に自分の名前が載るのに恍惚感を感じる人ですね」「おお、わかってきたな。あとは役員改選。新役員を代表して新会長よりあいさつをと言つてのに、副会長がわたしからも一

言つて。いい、会長が代表で言つたら。それなのにしゃしゃり出て会長を補佐して、補佐ができるか。会長より目立とうとして会長より長くあいさつして、本当は会長になりたかつたんだな。でも一生おまえは会長になれないぞ」「なんかうらみがこもつてますね」「だからいるんだよ。わけのわかんないのが。そしていよいよ飲み会だがここからがまた長い来賓祝辞、あれ何とかなんないのかね。人より一分でも長くしゃべろうとして最後に一言だけとか、話が変わりますからとか、はなはだ粗辞ではございますが、ああ粗辞だ粗辞、ないほうが最高」「いますよね、あいさつの長い人」「そう、それで極めつけが乾杯の音頭の長いやつ。持ったコップをテーブルに置き、また持ち直しの繰り返し。以上こういう連中を排除した総会大好き」「それって総会成立しますか」「する、異議なし」



連載コラム

春は総会シーズン。簡潔に要点を整理して説明することが嫌われないコツ。



みなかわ・よういち  
1948年藤沢町生まれ。深葎の昔とうふ工房代表。藤沢野焼祭実行委員会実行委員長。藤沢町民劇団団長。好きな言葉は「天衣無縫」。自分の宝は「夢」。たくさんありすぎて一つや二つ失っても挫折しないから。黄海宇西深葎在住。59歳

Health

ぼくわたしむし歯ないんだよ

2月15日の3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



千葉菜央ちゃん  
ちば・なお  
徳田字萱刈場



佐藤友晴くん  
さとう・ゆうせい  
藤沢字早道



佐藤愛香ちゃん  
さとう・まなか  
藤沢字夕川



及川紗良ちゃん  
おいかわ・さら  
藤沢字町裏



千葉洸輔くん  
ちば・こうすけ  
増沢字中ノ森



小野寺美月ちゃん  
おのでら・みづき  
西口字切付



三浦愛華ちゃん  
みうら・あいか  
徳田字桜ノ沢

## 募集します

### 剣道スポーツ少年団の 20年度新規団員を募集

藤沢剣道スポーツ少年団

藤沢剣道スポーツ少年団は、20年度の新規団員を募集します。剣道を通じて心身を鍛え、礼儀を学び、気力を養いませんか。藤沢剣道スポーツ少年団は、各種大会にも出場しているほか、けいこを通じて児童生徒の健全育成を図っています。

**活動** 毎週土曜日午後2時～4時(そのほか暑中稽古寒稽古あり)

**対象** 小学1年～中学3年

**場所** 町民体育館

**参加費** 入会時1,000円(登録料、保険料)と毎月500円

[問]町体育協会事務局 ☎63-5551

### 東北地区国立大学法人 が20年度の職員を募集

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会

東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会は20年度の職員(事務系・技術系)を募集します。

**受験資格** 昭和54年4月2日以降に生まれた人

**受付期間** 4月1日(火)～10日(木)  
(郵送だけ受け付ける。当日消印可)

**第1次試験**

[試験日] 5月18日(日) [試験地] 弘前市、盛岡市、仙台市、秋田市、山形市、福島市 [試験区分] ①事務 ②図書 ③電気 ④機械 ⑤土木 ⑥建築 ⑦化学 ⑧物理 ⑨電子・情報 ⑩資源工学 ⑪農学 ⑫林学 ⑬生物・生命科学

[問]東北地区国立大学法人等職員採用試験実施委員会採用試験事務局 (東北大学本部内) ☎022-217-5676

### 総務省東北総合通信局 が電気モニターを募集

総務省東北総合通信局

東北総合通信局は電気通信サービスに住民の意見や要望を反映させるため、モニターを募集します。

**資格** 東北6県の20歳以上の下記

内容に協力できる人

**内容** ①アンケートへの回答②モニター会議への出席(別途依頼)

**委嘱期間** 6月1日～21年3月末

**募集期限** 4月4日(金)

**募集人員** 120人

**応募方法** はがきまたはファクシミリの送信用紙表面に「モニター希望」と明記してください。裏面には①郵便番号②住所③氏名(フリガナ)④電話番号⑤年齢⑥性別⑦職業⑧メールアドレス(携帯電話は不可)⑨応募の動機⑩モニター会議参加希望の有無⑪の必要事項を記入してください。

[申し込み・問い合わせ]

総務省東北総合通信局電気通信事業課 ☎022-221-0628/FAX022221-0613

## ありがとう ございました

千葉勝博さん(黄海字町裏)  
まちづくりの推進に役立ててと金10万円が寄付されました

千葉勝博さん(黄海字町裏)  
町民病院の設備充実に役立ててと金30万円が寄付されました

藤村啓さん(藤沢字町)  
町民病院の設備充実に役立ててと金30万円が寄付されました

橋本正雄さん(藤沢字荒屋敷)  
「老健ふじさわ」の設備充実に役立ててと「福祉用具」(3万円相当)が寄付されました

稲吉一子さん(東京都調布市)  
「光栄荘」の設備充実に役立ててと「離床センサー」2台(金10万円相当)が寄付されました

### 休日の当番医(東地区)

月日	医療機関	地区	電話番号
3月20日	もりあい内科クリニック	千厩	(51)3322
23日	本多医院	大東	(72)2133
30日	菅野内科医院	大東	(75)2772
4月6日	谷藤内科医院	千厩	(51)3355
13日	宍戸クリニック	千厩	(52)3387
20日	かわさきファミリークリニック	川崎	(43)3770

変更になる場合があるので電話で確認してください

## 戸籍の窓

### こんにちは赤ちゃん

石川 翔明(慶太・郁恵/西口字西小戸沢)  
及川 瀬愛(優志・真喜/藤沢字葉山平)  
山口 詩織(俊秋・由美子/保呂羽字宇道沢)  
佐藤 雅紀(修一・美枝/大籠字中鈴根)  
佐藤 理央(佑樹・祝子/藤沢字西風)  
千葉 星和(覚・由美/西口字西小戸沢)

### ご結婚おめでとう

加藤 清和・久美子(砂子田字八森沢)

### お悔やみ申し上げます

石田 一子 82 保呂羽字二本柳  
畠山 昭一 80 藤沢字夕川  
佐藤 直 80 黄海字下曲田  
金野 幸吾 79 大籠字洞木  
星 壽子 93 新沼字粕灰  
千葉 チカ 78 西口字東小戸沢  
千葉 喜一 86 増沢字柏木  
松本 正男 85 藤沢字早道  
畠山つや子 92 保呂羽字宇和田  
金野 篤志 82 大籠字緑石  
佐藤 三郎 83 藤沢字八沢  
千葉ミヨノ 98 黄海字本沢  
菊地 吉雄 90 藤沢字荒屋敷  
小野寺 清 76 新沼字芦毛ノ沢  
菅原 忠 87 増沢字上久手  
佐藤フミコ 77 徳田字堂ノ洞  
佐々木輝雄 66 黄海字小日形

\*敬称略。届け出時に総合情報誌への掲載を希望した人だけ載せています

### 藤沢町の人口(3月1日現在)

地区	人口	前月比	世帯数	前月比
藤沢	3,166	9	1,045	2
黄海	2,553	0	716	1
八沢	2,467	-12	772	-2
大津保	1,456	-7	430	-1
計	9,642	-10	2,963	0
男	4,731	-7		
女	4,911	-3		



## お知らせ

### 戦没者の遺族に弔慰金 3月31日までに請求を

町民課

戦没者等の死亡当時の遺族で、17年4月1日現在、公務扶助料や遺族年金等を受ける人がいない場合、次の先順位の遺族に特別弔慰金が支払われます。

**対象** ①17年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した人②戦没者等の子③戦没者等と生計関係を有していた④父母⑤孫⑥祖父母⑦兄弟姉妹⑧上記①から③以外の三親等内の親族(戦没者等の死亡時まで1年以上生計関係を有していた人)

**支給額** 40万円、10年償還の記名国債

**請求窓口** 役場町民課

**請求期限** 3月31日(月)

**[問]**役場町民課 ☎63-2111

### 国の教育ローンの金利 2.2%に改訂されました

国民生活金融公庫一関支店

国の教育ローンの貸し付け利率は2月12日から改訂されました。

**対象** 世帯の年間収入が990万円(事業所得は770万円)以内の保護者

**融資額** 学生・生徒一人につき200万円以内

**使途** ①入学金、授業料など②受験料、交通費など③アパートの敷金、家賃など④教科書代、通学費など

**返済期間** 10年以内

**利率** 2.2%(改訂前2.5%)

**[問]**教育ローンコールセンター ☎0570-008656 / 国民生活金融公庫一関支店融資相談係 ☎23-4157

### 一関保健所大東支所が 20年3月31日で廃止に

一関保健所

岩手県一関保健所大東支所(市の支所ではなく県の出先機関)は20年3月31日で廃止になります。大東支

所で行っていた業務は、4月1日から一関保健所で取り扱います。定期的に千厩行政センターなどに臨時窓口を設けるなどして対応します。

**[問]**岩手県一関保健所 ☎26-1415

## 開催します

### 古里への就職希望者は いわて就職面接会へ

ふるさといわて定住財団

(財)ふるさといわて定住財団は、県内への就職希望者を対象に「いわて就職面接会」を開催します。

**日時** 4月16日(水)午後1時～5時

**場所** 岩手産業文化センター「アピオ」(滝沢村滝沢字砂込389-20)

**対象** 21年3月卒業予定の大学、短大、高専、専門・専修学校の学生、既卒者および一般求職者

**内容** ①企業との個別面談②ハローワークによる職業相談③適職診断一など

**[問]**(財)ふるさといわて定住財団

☎019-653-8976

### 無料法律相談を開設 気軽にご利用ください

一関市役所生活環境課

一関・両磐地方の住民を対象に、無料法律相談を開催します。困り事や悩み事のある人は、気軽にご利用してください。

**日時** 毎週木曜日、午前10時～午後3時(電話受け付け不可。直接会場に来てください)

**場所** 一関市役所(2階第4委員会室)

**相談** 弁護士が相談に応じます

**[問]**一関市役所生活環境課

☎21-2111内線8348 / FAX21-2101

### 歯のテレホン相談開設 歯や口の悩みは何でも

岩手県保険医協会歯科部会

電話相談「ヨイ歯デーテレホン相談」を4月18日に実施します。歯や口に関する悩みや相談のある人は、

気軽に利用してください。

**日時** 4月18日(金)[受け付け]午前10時～午後8時[回答]午後7時以降(電話で相談を受け付け、午後7時以降に歯科医師が折り返し電話で回答します)

**電話番号** ☎019-651-7341

**[問]**岩手県保険医協会歯科部会

☎019-751-7341

### 漫画家三田紀房さんを 講師に教育講演会開催

盛岡地域若者サポートステーション

青少年の自立と職業観の育成を目的に「青少年キャリア教育講演会」を開催します。講師は北上市出身の漫画家三田紀房氏です。

**日時** 3月28日(金)午後1時～4時

**場所** 岩手県情報交流センター「アイーナ」7階アイーナホール

**内容** [演題]青少年のターニング・ポイント：進学と就職への対応

**[講師]**漫画家 三田紀房氏

**対象** 中学生以上の県民

**入場** 無料

**[問]**盛岡地域若者サポートステーション運営協議会 ☎019-625-8460

### 50人未満の事業所対象 認定産業医が健康相談

一関市医師会

従業員50人未満の小規模事業所で働く事業主や労働者を対象に、各種健康相談や健診結果に基づく事後指導などを行っています。

**3・4月の日程**

月	日	曜	時間	場所
3	21	金	13:00～15:00	一関市医師会
	27	金		一関商工会議所千厩支所
4	3	金	13:00～15:00	一関市医師会
	10	金		一関市医師会
	17	金		一関市医師会
	24	金		一関商工会議所千厩支所

**主な相談項目** ①健診結果(有所見者)に基づく事後指導②過重労働による健康障害の防止③生活習慣病の予防④従業員の健康管理⑤メンタルヘルス(心とからだ)

**[問]**一関市医師会

☎23-5110 / FAX23-9955

# 小さな掛け金、大きな補償のスポーツ安全保険

## 子供の団体

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などを行う中学生以下の5人以上の子どもで構成される社会教育関係団体。子ども5人以上で加入してください。

加入区分	掛け金 (1人)	対象	対象範囲	傷害保険金額				賠償責任保険金額 (てん補限度額)	共済 見舞金
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)		
A	500円	[子ども] 中学生以下または特別支援学校の幼児、児童、生徒 AとAWの子ども5人以上で加入	団体活動中とその往復中 (学校管理下を除く)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	[身体賠償] 1人1億円、1事故5億円 [財物賠償] 1事故500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全や脳内出血) 160万円
AW	1,050円			2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円		
[AW区分の特例] 個人活動・個人練習なども補償の対象			上記以外 (学校管理下を除く)	100万円	150万円	1,000円	500円	[身体賠償と財物賠償を合算] 1事故500万円 (免責金額1,000円)	対象外
				日射・熱射病、細菌・ウイルス性中毒の場合、保険金額はA区分と同じ					
A	500円	[大人] スポーツをしない高校生以上の人(送迎、応援、準備、片付けの活動支援) 5人以上の子どもと一緒に加入	団体活動中とその往復中 (学校管理下を除く)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	[身体賠償] 1人1億円、1事故5億円 [財物賠償] 1事故500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全や脳内出血) 160万円
AC	1,000円	[大人] スポーツをする高校生以上の人(実技・理論指導とその補助など) 5人以上の子どもと一緒に加入		1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
C	1,500円			2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		

## 大人の団体

スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動などを行う高校生以上の5人以上の大人で構成される社会教育関係団体。加入区分ごとに5人以上で加入してください。

加入区分	掛け金 (1人)	対象	対象範囲	傷害保険金額				賠償責任保険金額 (てん補限度額)	加入区分
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)		
A	500円	高校生以上の文化、ボランティア、地域活動団体	団体活動中とその往復中 (学校管理下を除く)	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	[身体賠償] 1人1億円、1事故5億円 [財物賠償] 1事故500万円 (各免責金額1,000円)	突然死 (急性心不全や脳内出血) 160万円
B	800円	構成員の2/3以上が60歳以上の団体(老人クラブなど)		600万円	900万円	1,800円	1,000円		
C	1,500円	高校生以上のスポーツ活動団体		2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
D	9,000円	危険度の高いスポーツを行う団体		500万円	750万円	1,800円	1,000円		

# 安心の環境

トレーニングの前に



「小さな掛け金、大きな補償」が特徴のスポーツ安全保険。スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、地域活動を行うアマチュアの社会教育団体が加入できます。

加入手続きした5人以上の団体の構成員を被保険者に、スポーツ安全協会が契約者となって損害保険会社と一括契約します。補償内容は、傷害保険「賠償責任保険」のほか、協会が運営する「共済見舞金制度」と充実しています。

① 傷害保険  
急激で偶然な外来の事故による傷害で、死亡・後遺

障害・入院・手術・通院を補償します。ただし治療日数(入院日数および通院日数)四日以上以上の傷害に限ります。

② 賠償責任保険  
他人にけがをさせたり他人の物を壊したりした場合、法律上の損害賠償責任を補償します。

③ 共済見舞金  
突然死(急性心不全、脳内出血などによる死亡)の際に見舞金を支払います。スポーツ安全保険に関する詳しい問い合わせは、藤沢町体育協会 藤沢海洋センター 内 ☎ 63-1555-11 まで。



# 文化をつくるDNA

第9回藤沢町民劇場(同実行委主催)は2月24日、縄文ホールで開かれ、劇団員手づくりの舞台「まほろばの唄 よみがえる命の火」を上演、会場を埋めた観衆から拍手喝采を浴びた。物語は縄文時代、フンツァ集落に生まれた男の子アシタの成長を追いながら、さまざまな人間模様、集落のおきて、火の尊さなどが描かれた創作劇。藤沢町民劇団の皆川洋一<sup>よういち</sup>団長＝黄海字西深萱<sup>せいしんげん</sup>＝が原作、脚本を、千葉憲一<sup>けんいち</sup>さん＝徳田字曲田<sup>まがら</sup>＝が演出を担当した。劇団員が心一つに成功させた舞台を追いながら、進化する文化創造活動をレポートする。

## 古里にこだわり 進化する文化創造活動

第9回藤沢町民劇場  
まほろばの唄  
よみがえる命の火



## 誕生

[第2場]アカシの家の前  
色白で毛のないシンバとクリの子アシタを、産婆ウメヨは「始末すべきだ」と言う。村長アカシの妻ワッカはウライのおためしで決めてはどうかと助言。おためしの結果アカシは、端ずれ沢で暮らすことを条件に子育てを許す(右)



## 決断

[第3場]シンバの家  
シンバとクリは端ずれ沢で暮らすことを決め、子どもを立派に育てることを誓った。子供には、「明日に向かって生きてほしい」という思いを込めて「アシタ」と名付けた(左)



## 喧嘩

[第9場]若者宿の前  
若者宿に入ったアシタとヤクは、どちらがトキを嫁にするかを巡ってけんかする。トキは「アシタと一緒にいる」と言うが、それは力の強い者から嫁を選んでいく村の掟を破ることになる。掟破りの二人は村から追放される(右)



## 希望

[第13場]村の広場  
イナホが火の番をした夜、雷雨で村中の火が消えてしまう。火種まで消え、困り果てたところへ旅の行商人ナガレ親子が現れる。ナガレは「西の方に火を噴く山がある」と教えてくれる(左)



## 発見

[第13場]村の広場  
イナホとタマミが火を探しに旅に出ようとしたその時、山のふもとから立ち上る一筋の煙を見つける。「煙はアシタのところだ」(左)

さまざま人間模様、  
集落のおきて、  
火の尊さなどを描いた  
愛と感動の物語

# 縄文時代の藤沢モチーフに 縄文ホールから文化を創造・発信

第9回  
藤沢町民劇場

まほろばの唄  
よみがえる命の火

24.Feb.2008

## 喝采

[カーテンコール]  
見事な演劇に満席の会場から大きな拍手が送られた感動のカーテンコール(右)







## 驚嘆

[第14場]アシタの家の前  
煙を頼りにアシタの家を訪れた村人たちは、これまでの行いを詫言、村に戻って一緒に暮らすようお願いする。みんなが荷物を運び始めると、そこには今まで見たことのない道具が次々と出てくる

塩野半十郎氏、岡本太郎氏、池田満寿夫氏、岡本敏子氏、町の文化振興に貢献された四氏を偲んだ創作劇



## 乱舞

[第15場]村の広場

村人たちがアシタの家を訪れているその時、アカシはシンパー一家にも村に戻り一緒に暮らすようお願い。アシタ家族が村に帰ってくると、広場ではお祝いが始まる。村人たちは猿水(酒)を飲み、乱舞して歓迎する

あらすじ  
フンツア集落に住むシンパとクリに、色白で毛の少ない子どもが生まれた。村人たちは、呪われている。始末すべきだと、シンパー一家を魔物が住むといわれる端すれ沢に追い出した。  
アシタと名付けられた子は賢く育ち、鬘や焼き物などを次々と発明した。そして、若者宿での生活が始まる。  
アシタとヤクは、どちらがトキを嫁にするかを巡ってけんかになる。トキは、アシタを選ぶが、それは力の強い者から嫁を選んでいくという村の掟を破ることになり、二人は村から追放される。  
ある日、大切な火種が雷雨で消された。火の番だったイナホが火捜しの旅に出ようとしたとき、アシタが住む山のふもとから煙が見えた。村人たちは、火熾しの技術を身につけたアシタに許しを請い、アシタ家族を村に連れ戻す。村が一つになつて祝いの宴が最高潮に達した時、トキはアシタに懐妊を告げた。

[企画・制作] 主催 藤沢町民劇場実行委員会  
原作 皆川洋一 脚本 皆川洋一  
演出 千葉憲一 助演出 熊谷健太 舞台監督 及川隆司  
[協力] 吹き出し ハナミズキの会 振り付け 和田正一、村上文昭 太鼓指導 二日町祭神太鼓保存会  
ブロンプター 岩淵重幸(以上敬称略)



## 魅了

迫真の名演技

昨秋からけいこを積んできたキャストは息もぴったり。本番では、力の入った見事な演技で客席を魅了した。右からアカシ役畠山満さん、ウライ役井口歩美さん、カゼ役藤沢誠さんの3人

# 文化とは、ここにはない舞台をつくる。キャストはもちろんスタッフも住民が担う藤沢町民劇場。世界にひとつ、オンリー・ワンの文化は、地元はもとより東京、盛岡、仙台でも上演。地方から都市へ文化を発信するという、新しい流通経路を打ち出した。現在横浜公演の話も浮上。ますます目が離せない。

ここにしかないテーマで、ここにしかない舞台をつくる。キャストはもちろんスタッフも住民が担う藤沢町民劇場。世界にひとつ、オンリー・ワンの文化は、地元はもとより東京、盛岡、仙台でも上演。地方から都市へ文化を発信するという、新しい流通経路を打ち出した。現在横浜公演の話も浮上。ますます目が離せない。

## 主役アシタ(青年期)役 柴田純平さん

一関市東山町 千厩高1年

主役は初めて。任された時は驚きました。本番は緊張して、うまくできないところもあり少し悔しいです。演技はやくとのからみ(9場のけんかシーン)が一番難しかったです。本番では納得の演技ができました。



## クルミ役 小野寺小春さん

砂子田字火ノ田 藤沢小4年

町民劇場は初めてです。トキ(少女期)役の佐藤麻衣さんに誘われて参加しました。練習も本番もとても楽しくできました。本当に参加してよかったです。クルミの出来は85点くらいかな。来年もまた参加したいです。



### 町

民劇場は、総合芸術である演劇上演を通じて地域を見つめ直し、独自の文化を創造、発信する取り組みだ。

九九年十月に旗揚げされた藤沢町民劇団のキャスト、スタッフが、心をつなげて、過去八度の地元公演と東京公演(〇二年十月)、盛岡公演(〇五年一月)、仙台公演(〇七年二月)を成功させてきた。

処女作「森に消えた十字架」は二〇〇〇年二月、縄文ホールで上演され、会場は立ち見が出るほどの盛況ぶり。涙と感動に包まれた。第二回公演「お菊の水物語」は音は知っていた「は」は〇一年二月に上演。黄海・二日町の洪水から再興までの村づくりが描かれた愛と感動の物語だ。

第三回公演「〇二年二月」は今回再演した「まほろばの唄 よみがえる命の火」。町の象徴である「縄文」にスポットを当てた創作劇で、

火の尊さを訴えた。

第四回公演「〇三年二月」は、東京公演とあわせて、再び「森に消えた十字架」を上演。

第五回公演「〇四年二月」は、増沢・立神社の伝説をモチーフにした創作劇「巨岩伝説 錫杖の音こだまして」。大石の除霊をめぐる繰り広げられる人間模様が巧みに描かれている。

第六回公演「〇五年二月」は、盛岡公演と合わせて三度「森に消えた十字架」を上演。

第七回公演「〇六年二月」は「屋須弘平物語 さくら」。中米グアテマラで人生の大半を過ごした郷土出身の写真家屋須弘平の波瀾万丈の生涯が描かれた愛と感動の物語だ。

そして昨年の第八回公演「〇七年二月」は、仙台公演と合わせて四度目の「森に消えた十字架」を上演した。

### TOP INTERVIEW

## 進化する町民劇場 来年は横浜公演も

藤沢町民劇団長  
皆川洋一さん

黄海字西深萱 自営 59歳

今回の出来は予想以上に良かったと思います。毎回言えることですが、けいこの出来が悪く、ただ心に心配になるんですよ。きつと、本番と練習では、気合いの入り方が違うんでしょう。

「まほろばの唄 よみがえる命の火」は、第三回公演に続く再演ですが、前回と同じ役は二人だけでほぼ総入れ替えでした。





ハンジイ役  
**伊勢徳郎さん**

西口字玉川 会社員

飲まずに酔っぱらいの役は難しかったです。上演中は客席が見えなくて緊張しませんでした。カーテンコールで満席の会場を見たときは感動しました。世代を超えて一つのをやり遂げるのは素晴らしいことですね。



トキ(青年期)役  
**千葉奈菜さん**

藤沢字吉高 千歳高2年

前回まで男役が多く、女役に戸惑いました。化粧もうまくいかないし、動きもぎこちなくて大変でした。役は照れくさかったけど、自分がトキになりきれたとき、アシタを好きになれて、自然に演技ができるようになりました。



主役アシタ(少年期)役  
**矢尾板祥之さん**

徳田字桜ノ沢 藤沢中1年

緊張しながらも最後までやりきり、本番前の緊張感が達成感に変わっています。初めての出演で最初は重圧でしたが、けいこを重ねるうちに責任感に変わって、それが最後まで頑張る力になりました。これからも続けて参加したいです。



本番前の緊張感漂う楽屋。化粧スタッフにメイクしてもらいながら、徐々に志気を高めていくキャスト



上 裏方は舞台裏の千両役者だ。光を操り舞台を彩る照明スタッフ  
下 ボランティアで昼食を準備してくれたハナミズキの会の皆さん



**音**

響、照明、化粧などの裏方は、Jスタッフ協議会（及川隆司会長）を中心とする劇団スタッフが担当し、舞台を彩った。昼食は、ハナミズキの会（須藤千代子会長）の皆さんがボランティアで準備してくれた。このように、舞台は多くのスタッフに支えられている。

舞台監督を務めたJスタッフ協議会の及川会長は、文化はコピーではなく、自ら創造することに意義があり、それが地域文化として古里に根付いていくのです。こだわればこだわるほど苦労は増えませんが、苦労を乗り越えてこそその先に感動がある。町民劇場は「〇〇藤沢産。ここにしかないオンリー・ワンの文化です」と胸を張る。鮮やかな照明を浴び、迫真の演技で客席を魅了する表舞台がある一方で、もう一つのドラマが繰り広げられる舞台裏。裏方と呼ばれるスタッフは、光と音を巧みに操り舞台を彩る舞台裏の千両役者だ。

**文**

化の流通経路は、一般的に「都市から地方へ」だ。しかし、〇二年十月、東京世田谷区民会館で行われた東京公演は、従来の概念を覆し、「地方から中央へ」という新たな流通経路を打ち出した。〇五年一月の盛岡公演、昨年の仙台公演はその再来。いったいなぜ、藤沢町民劇場はここまで高い評価を受けているのだろうか。

皆川団長は、豊かな時代だからこそ、やさしさや温もりのあるものが、本当に心を動かされるものが見直されてきているんだと思う。町民劇場は古里のやさしさやぬくもりを感じる事ができる。そんな本質が都市の人たちに評価されているのでは」と言っ。現在、横浜港開港百五十周年を記念して、横浜市での公演も浮上している藤沢町民劇場。古里の文化を都市から発信するだけでなく、地域文化のあり方やその意義までも投げかけている。

脚本は、野焼祭にゆかりのある人たちをモチーフに書きました。あの役は塩野半十郎先生、この役は岡本太郎先生つてね。縄文時代というのは、弥生時代と比べて暴力もなく、すごく平和な時代でした。みんなが仲良く暮らしていました。そういう互いを思いやる心の和とか共に生きていく集落の連帯感などを感じてもらえたらうれしいです。来年は、「屋須弘平物語 さくら」を上演したいと考えています。現在東京、盛岡、仙台に続き、横浜公演の話が進んでおり、横浜にゆかりのある屋須を選びました。具体的な打ち合わせはこれからですが、来年は藤沢町民劇場十周年、横浜港開港百五十周年、屋須が横浜を出港して百三十五年という記念すべき年。ぜひ実現させたいと思っています。よそで公演することは団員にとっても刺激になります。そのモチベーションを維持したまま縄文ホールで上演できたらいいですね。団員の中には、第一回からかわっているキャストやスタッフがあります。九年間で彼らの知識や技術は格段にレベルアップしており、演出、音響や照明などはすっかり任せています。町民劇場は藤沢が誇る文化の一つに成長していると思うし、文化をつくるDNAは確実に継承できていると思います。





# 神楽一筋半世紀

## 地域伝統文化功労者として 本県から唯一受賞

財団法人伝統文化活性化国民協会(平山郁夫会長)の二〇〇七年度地域伝統文化功労者に、下大籠南部神楽保存会長高橋義男さん(七〇)「大籠字奈良原」が本県から唯一選ばれた。

同表彰は伝統文化の振興、団体育成に貢献した個人や団体に贈られるもので、本年度は全国で二十三の個人・団体が受賞した。表彰伝達式は三月七日、岩手県庁で行われ、相澤徹(ととむら)県教育長から義男さんに表彰状が伝達された。

「この年になって表彰されるなんてありがたいね。みんなでやってきたからみんなのおかげ。本当にうれしい」と笑顔を見せる。

神楽との出会いは少年時代。古里の宮城県本吉町で、下大籠南部神楽の演舞を見て心を打たれた。「かつこよかった。テレビのない時代、神楽を舞う人はスターだった」と振り返る。

一九五一年、縁あって本町大籠

へ移住。あこがれだった同保存会に入会し、「神楽三昧」の人生がスタートした。以来、半世紀以上にわたり舞ってきた。七三年からは会長を務め、保存、伝承活動にも力を注いでいる。

二〇〇〇年、国際友好親善の町豪州デュアリンガ町からシドニー五輪聖火リレーイベントへの参加を依頼され渡豪。世界最大のスポーツイベントで古里の神楽を世界へと発信した。

そんな順風満帆の義男さんを悲しみが襲ったのは〇三年夏。後継者として義男さんと共に保存会の舵をとってきた長男巳喜夫さんが四十八歳の若さで他界した。その年は、くしくも保存会結成七十周年の年で、さまざまな公演を企画していた矢先だった。

「けいこから公演まで、保存会の運営を任せていた一番の後継者まさかおれより先に…」  
保存会の会員たちは、しばらく

は活動を控えよう」と気遣っていたが、義男さんは、神楽を続けることが、神楽を愛した息子への一番の供養」と予定されていたすべての公演を実施した。巳喜夫さんに代わり、孫の賢志さん(二四)「自営」が義男さんを支えた。

あれから四年。現在は賢志さんと共に保存会はもとより大籠小学校でも伝承活動を行っている。さらに口承だった神楽の口上を三冊の冊子「倭神楽詠議本」にまとめるなど、「神楽の伝承者」としても重責を果たす。

「昭和初期から七十年以上続いてきた伝統文化を守りたい。一人でも多くの後継者を育てることがこれからの仕事」と前を見る。

情熱は七十八歳の今なお冷めない。神楽衣装に袖を通せば背筋がすくと伸びる。

高橋家三代の夢をつないできた神楽。表彰状は、巳喜夫さんの仏前に飾られている。

### 下大籠南部神楽

1933年、一関市花泉町出身のきこり佐藤清人さんが大籠地区に移住し、地域住民に伝えたのが始まりとされている。

高橋義男さん

たかはし・よしお 78歳  
農業 大籠字奈良原  
下大籠南部神楽保存会長

わたしの  
夢

## 三浦 彩さん

みうら・あや 新沼小6年 砂子田字野々田



### 夢は小学校の先生になること 中学では勉強と部活を両立したい

わたしは算数が得意です。担任の皆川昌枝先生にあこがれて、将来、小学校の先生になることが夢です。皆川先生みたいに、明るくて楽しい、笑顔の素敵な先生になりたいです。4月から中学生になりますが、藤中に入ったら勉強と部活を両立させたいです。部活は運動部に入りたいです。

#### 編集後記

藤高の教育は、協育だった。教職員はもとよりPTAが、同窓会が、地域の皆さんが日常的に生徒を支え、励ましてきた。「県立でも町立」という意識が、開かれた学校をつくってきた。わずか二十八人でも、大規模校に負けない活動を繰り広げ、有終の美を飾った最後の卒業生。この経験は宝だ。これからの人生、必ず役に立つだろう。朝夕、登下校する藤高生の姿を見ることはできない。一時代を築いた吹奏楽部の楽器の音も、グラウンドに響く硬式野球の打球音も、もう聞くことはできない。「寂しい」とはこういうことなのだらう。

(自治振興課 島山浩)

◎まちの総合情報誌ふじさわ3月号の印刷経費は1部92円です